

電動昇降デスクユニット

デスクリフト D85/D77

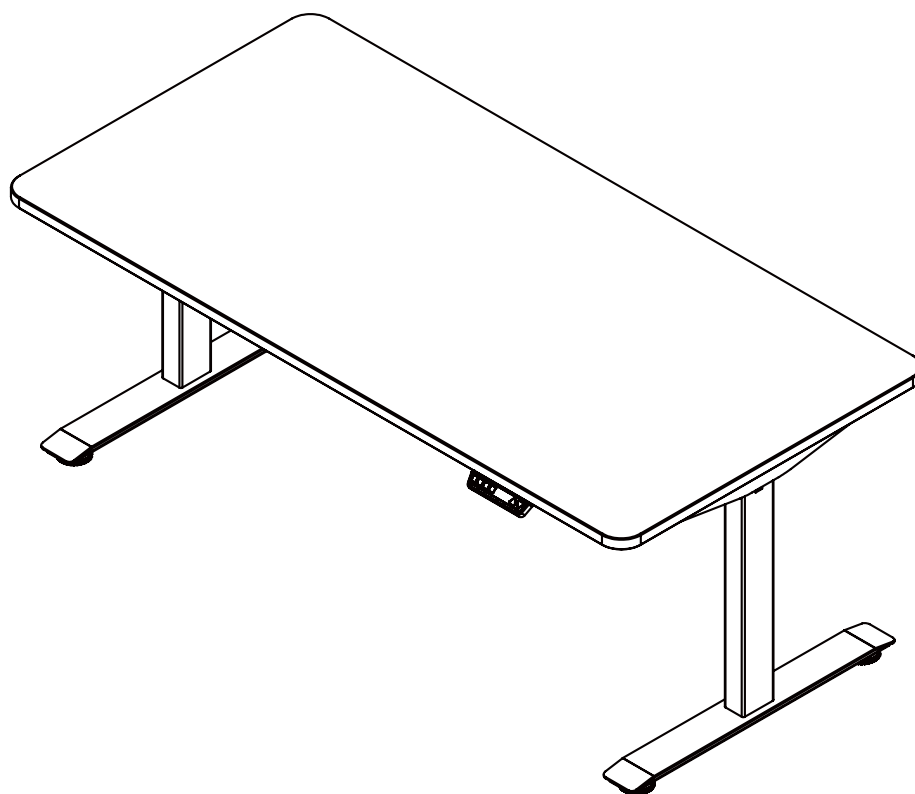


OKIN

A Phoenix Mecano Brand

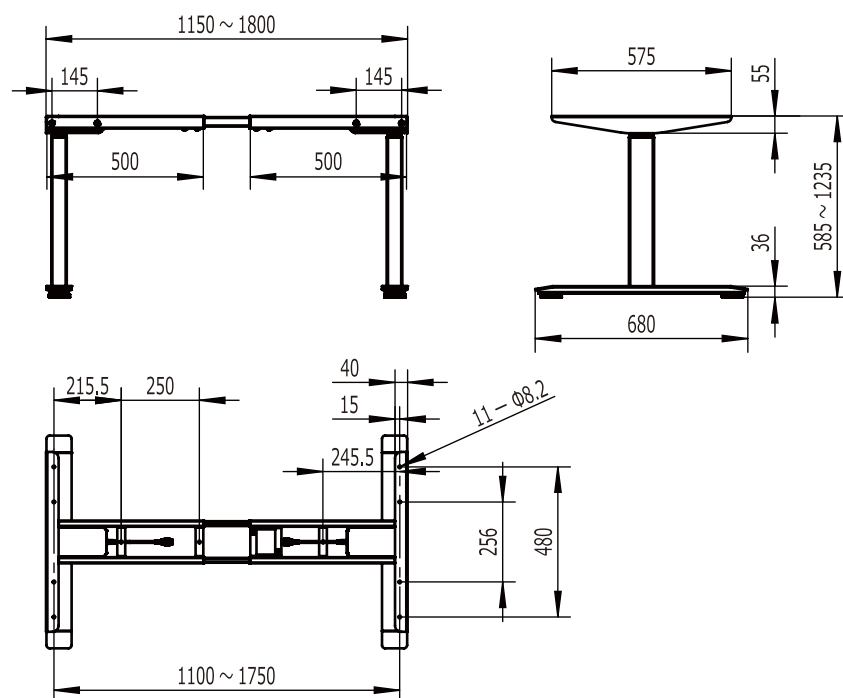
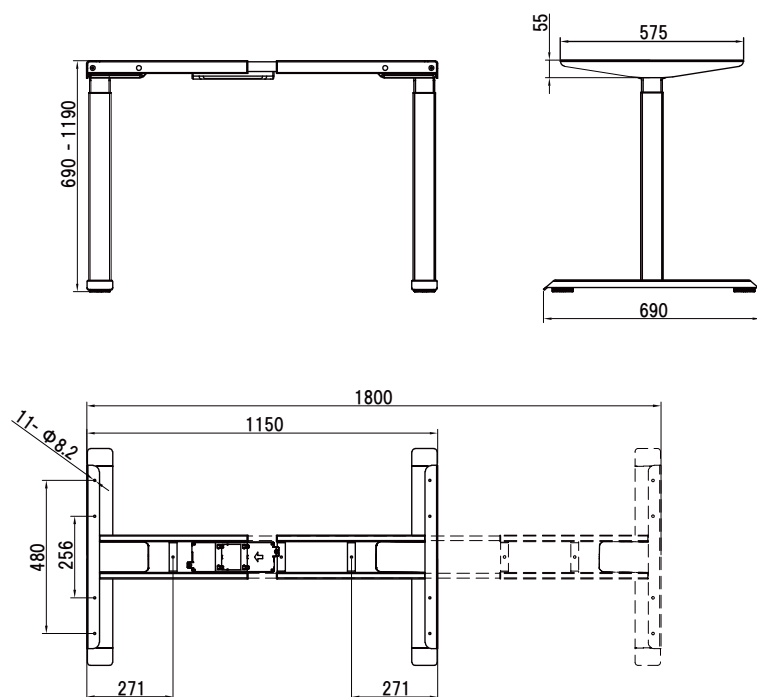
DS2.451.3W/B.01.WJ.102B

DS2.471.2W/B.01.WJ.101B



この度はオキン製デスクリフトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、いつでも参照できるように必ず保管してください。
海外品のため予告無しに仕様変更及び生産中止になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

組立・取扱説明書

D85**D77**

仕様

入力	AC100V 50/60Hz
出力	24VDC
耐荷重	120kg
高さ(天板なし)	D85 : 585mm~1235mm、D77 : 690mm~1190mm
運転条件	2分作動後、18分休止

安全のために必ずお守りください

※ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

※デスクリフトは、示された仕様書に基づく環境にてご使用ください。
仕様範囲を超えて使用した場合の損害に関して、メーカーと弊社はいかなる場合も保証いたしません。

警告

取扱を誤った場合、
死亡または重傷を負うことが想定される内容

注意

取扱を誤った場合、
重傷を負う可能性及び物的損害の発生が予想される内容

警告

●火災や感電の恐れがありますので、以下の事項を必ずお守りください。

- ・デスクリフト及びコントロールボックス、スイッチ、ケーブル類は分解したり修理及び改造は絶対に行わないでください。
- ・製品の組み立て、組み外しをする際には必ず電源プラグを抜いてください。
- ・定格電圧 AC100V 以外では使用しないでください。
- ・たこ足配線での使用はおやめください。
- ・電源ケーブルを傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる等しないでください。
- ・電源ケーブルに重いものを載せないでください。
- ・付属の電源ケーブル以外での使用や、電源ケーブルが破損した状態での使用はおやめください。
- ・電源プラグやコンセント周りのゴミや埃は定期的に取り除いてください。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを持たず、必ずプラグを持って引抜いてください。
- ・長期間使用しない場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。
- ・2分以上連続での昇降操作はしないでください。2分間連続操作した場合は、18分は操作しないでください。
- ・異音や異臭が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。
- ・本製品の異常な発熱、発煙、発火などにより、火災や人体の危険が予想される場合は電源を即座に遮断してください。
- ・屋外や水のかかる場所などでは絶対に使用しないでください。

●はさまれるなどしてけがをする恐れがありますので、以下の事項に十分注意してご使用ください。

- ・昇降操作をするときは天板の周囲、特に下に物が無いことを確認してください。
- ・昇降操作をするときは天板にもぐったり、足や手を入れたりしないでください。
- ・昇降操作中は周囲の人に十分注意してください。
- ・昇降操作中はレッグコラムなどの可動部には絶対に触れないでください。
- ・天板を上げるときは天板上方に設置された棚や壁面の掲示物等に、天板や机上の設置物がぶつからないよう十分に注意してください。
- ・天板を下げるときは天板下のワゴンやイス、その他のものを取り除いてから行ってください。
- ・天板を下げているときに誤ってイスやワゴンなどに当たった場合は、即座に操作を中止し、天板を上げて戻してください。

●断線やデスク転倒の恐れがありますので、機器が結線された状態ではデスクを動かさないでください。

注意

●破損や転倒の恐れがありますので、以下の事項に十分注意してご使用ください。

- ・延長コードを使用する際は、天板最大高さでの使用状況において十分なケーブル長さのものを使用してください。
- ・また、配線する際は天板昇降時に絡まったり、引っ掛かたりしないよう注意してください。
- ・耐荷重以上のものを載せないでください。
- ・デスクの上に乗ったり、座ったりしないでください。

●デスクを移動する際は、以下の事項を必ずお守りください。

- ・デスクの上にあるものは取り除いてください。
- ・天板を最低位置まで下げ、2人以上で移動させてください。
- ・天板ではなくサイドプレートを持って、デスクを持ち上げて移動させてください。
- ・周辺に障害物や危険が無いか十分に確認してください。
- ・デスクを引きずらないでください。

●けがをする恐れがありますので、子供が遊具代わりにしないようにしてください。また操作をさせないでください。

注意

●可燃性爆発性のガスあるいは蒸気（例えば麻酔薬）が生じる環境でのご使用はできません。

●故障の恐れがありますので、次の環境下でのご使用・保管・移動・輸送は避けてください。

- ・水が掛かる状況、水蒸気、塩水、油の掛かる場所。
- ・塵埃、ダスト等が多い場所
- ・腐食性ガス、有機溶剤、化学薬品溶液の雰囲気および爆発性雰囲気の場合
- ・直射日光が照射する場所、放射熱のある場所（樹脂の紫外線劣化や温度上昇の防止のため直射日光を遮断してください。）
- ・温度変化が急激な場所
- ・ストーブやエアコン等、周囲に熱源がある風通しの悪い場所
（熱での軟化破壊や温度上昇の防止のため熱を遮断または換気してください。）
- ・結露が発生する場所
- ・強い電磁ノイズが発生する場所（強電界、強磁界、サージが発生する場所）
- ・静電気放電が発生する場所、本体に静電気放電させる状況
- ・強い高周波が発生する場所
- ・雷の被害が予想される場所
- ・衝撃、振動のある場所
- ・製品が変形するような力、重量がかかる状況
- ・仕様書に記載されている数値以外での場所及び環境
- ・シリコン（含有スプレーなどの気体）の雰囲気がある場所、状況

安全に組立てるために必ずお守りください

注意

●組立て及び設置は、必ず組立説明書（本書）に基づいて行ってください。

●けがをする恐れがありますので、以下の事項に十分注意して組立ててください。

- ・十分な作業スペースを確保して行ってください。
- ・二人以上で行ってください。
- ・お子様が近くにいる環境では組立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品でケガをする恐れがあります。
- ・電動工具を使用する際は、手袋を外して行ってください。工具に巻き込まれてケガをする恐れがあります。
- ・組立て途中でコンセントに接続しないでください。
- ・アジャスター調整は2人以上で手足を挟まないように注意して行ってください。

●破損や故障の恐れがありますので、以下の事項に十分注意して組立ててください。

- ・デスクリフト、コントロールボックス、スイッチ類の固定部や連結部が緩まない確実な取り付けを行ってください。
- ・デスクリフト、コントロールボックス、スイッチには強い衝撃やねじれを与えないようにご注意ください。
- ・特にデスクリフトの昇降部に対して、ねじれの負荷がかからないように注意してください。
- ・配線類は容易に動かないように固定してください。また鋭角的にケーブルを屈曲させて固定することは避けてください。
- ・デスクリフト、コントロールボックスの取り付け面に凹凸や歪みがあると、フレームに無理な力が加わり故障の原因となりますので、平らに取り付けてください。
- ・異音や振動が発生した場合は、製品の取り付け不良の可能性があり、放置すると製品自体が破損する恐れがありますので、直ちに運転を停止してください。
- ・設置をする際は、必ず本体を水平に保つようにしてください。
水平が保たれない状態で設置すると、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。
- ・アジャスターにより、床面と水平を保つように調整してください。
- ・隣接する机や壁等とは25mm以上間隔を空けて設置してください。

部品一覧



Ⓐ フレーム 1 個



Ⓑ レッグコラム 2 個



Ⓒ サイドプレート 2 個



Ⓓ ベースプレート 2 個



Ⓔ コントロールボックス 1 個



Ⓕ 配線ケーブル 1 個



Ⓖ スイッチ 1 個



Ⓖ 電源ケーブル 1 個



Ⓐ M6×10 12 個



Ⓑ M6×16 8 個



Ⓒ 4.5×16 11 個



Ⓓ 3.5×16 2 個



Ⓔ プラスチックインサート 8 個



Ⓕ ケーブルクリップ 6 個



Ⓖ 六角レンチ 1 個



Ⓖ プラスドライバー 1 個

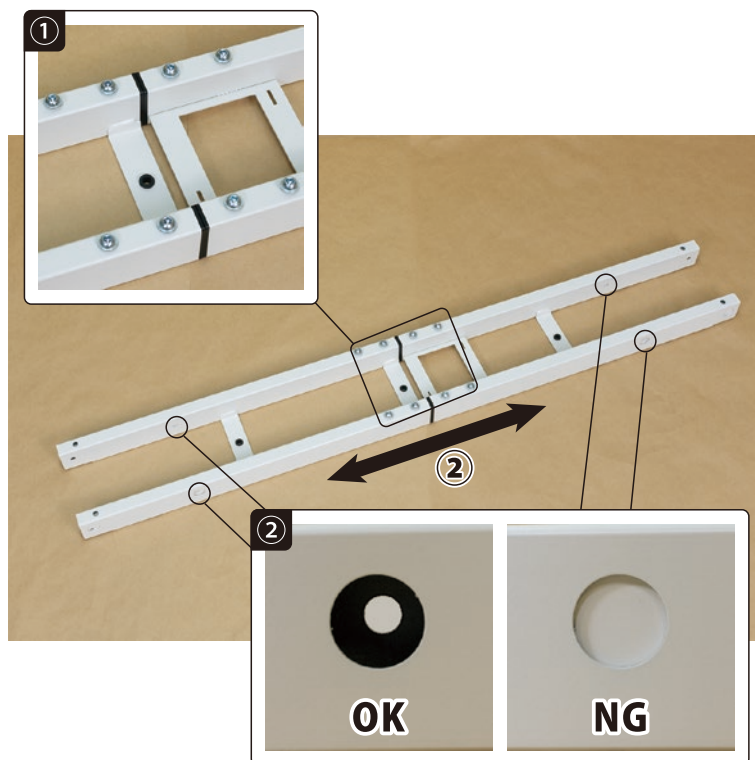
※ネジ類の余剰分は予備としてお使いください

組立手順

STEP 1 ⑧レッグコラムの取付

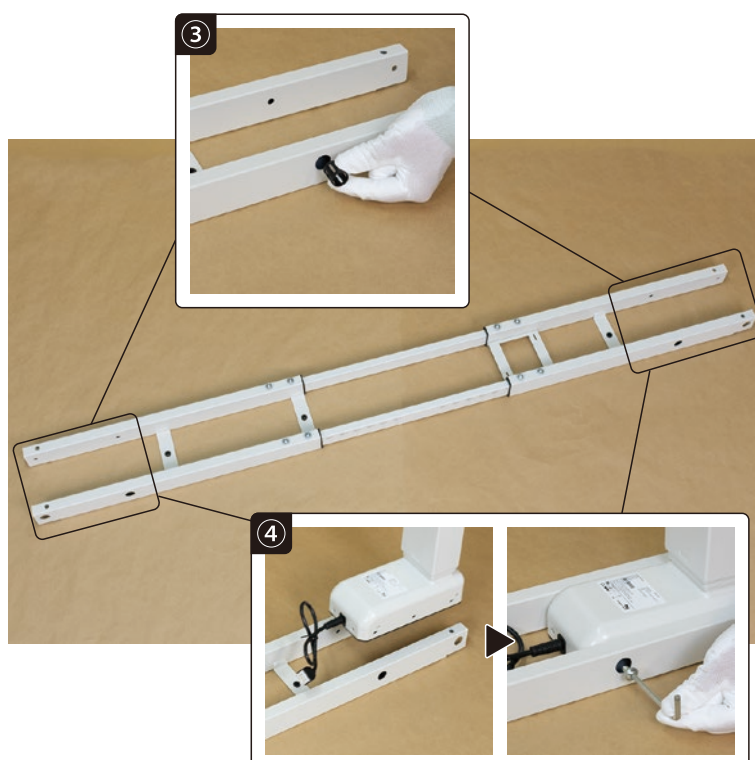
① ① フレーム中央のネジを緩めます。
(8 個)

② 側面の穴が見える程度に① フレームを
伸ばします。



③ ③ プラスチックインサートを入れます。
※ユニット幅 1350mm 以上の時のみ
(8 個)

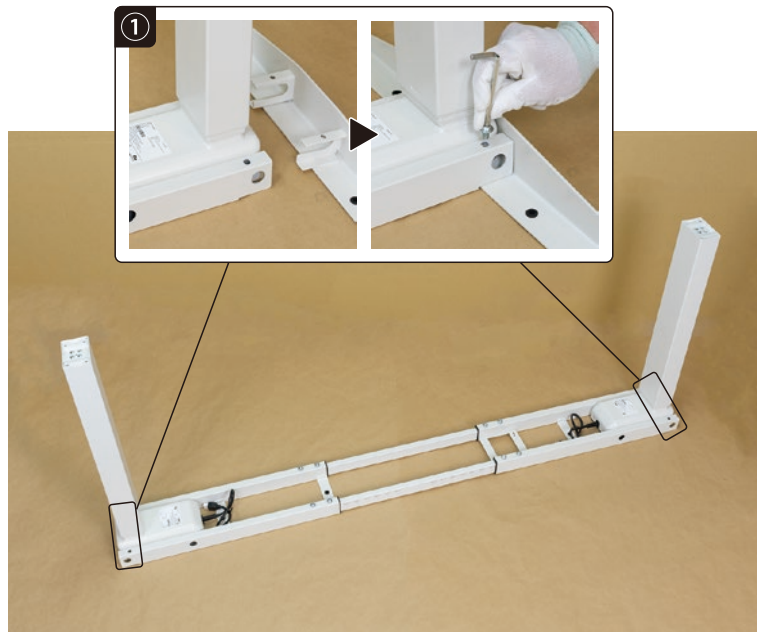
④ ④ レッグを取付けます。
((④ M6×10)×8 本 使用)



組立手順

STEP 2 ③サイドプレートの取付

- ①③サイドプレートを取付けます。
((③M6×10)×4本 使用)



STEP 3 ④ベースプレートの取付

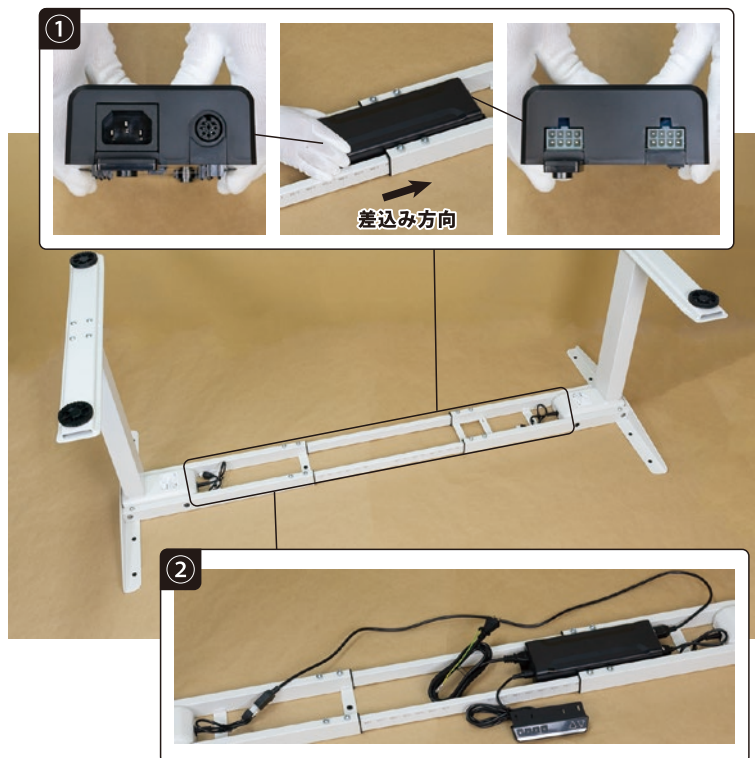
- ①④ベースプレートを取付けます。
((④M6×16)×8本 使用)



組立手順

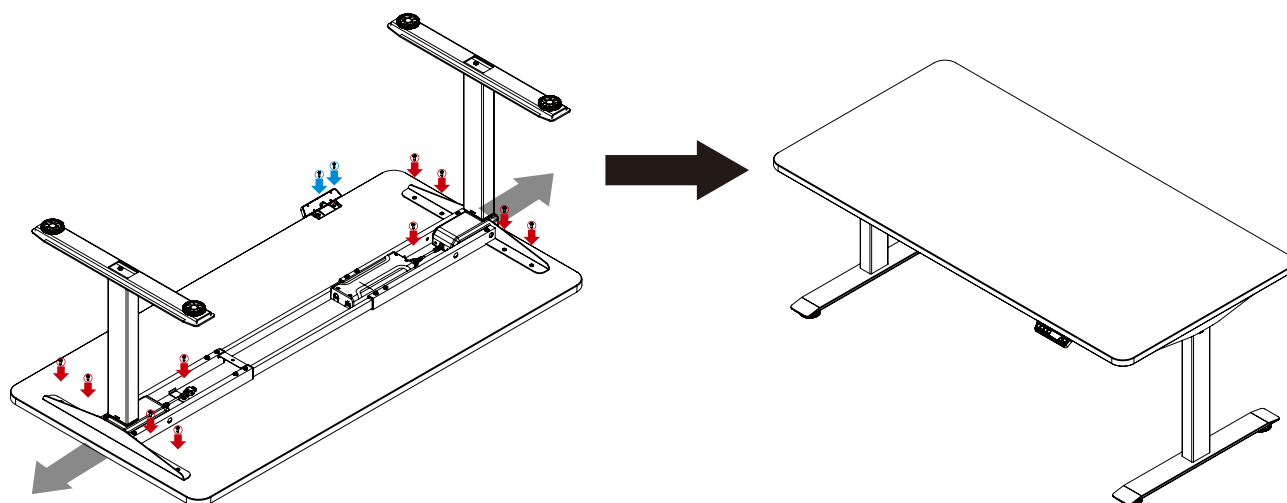
STEP4 電装品の取付

- ①(E)コントロールボックスを取付けます。
- ②ケーブル類を接続します。
(F配線ケーブル、Gスイッチ、
H電源ケーブル)



STEP 5 天板の取付

- ①天板にユニットを乗せ、天板幅に合わせてユニット幅を調整し、Aフレーム中央のネジ(8本)を締めます。
その後、ネジで天板にユニットとスイッチを固定します。
($\text{(\text{C}4.5 \times 16)} \times 10$ 本、 $\text{(\text{D}3.5 \times 16)} \times 2$ 本 使用)
ケーブル類は昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないようにfケーブルクリップで固定してください。



操作方法

リセット

i 初めてご使用になられる前に必ずリセットを行って下さい。
また、移動などで電源コードなどを外した際も同様にリセットを行ってください。

リセット作業中は衝突検知機能が機能せず、デスクが60 cm(D85) / 70cm(D77)まで下がります。
挟み込みの危険があるため、リセットを行う前に必ず昇降範囲に人や物などの障害物がないか確認してください。

1.    「E-1」と「rES」が交互に表示されるまで下ボタンを長押しします。
2.   再び下ボタンを長押しするとデスクが動き出します。
デスクが止まった後「060(D85) / 070(D77)」が表示されたら離してリセット完了です。
※表示方法がinchの場合は「23.7(D85) / 27.6(D77)」が表示されます。

昇降操作

1.  上ボタンを押し続けている間上昇し、上限に到達すると自動で停止します。
2.  下ボタンを押し続けている間下降し、下限に到達すると自動で停止します。

高さの記録

1.   デスクを操作して記録したい高さにします。
2.   「S--」が表示されるまでMボタンを約3秒間長押しします。
3.  or  or  1～3ボタンのどれか1つ(記録させたいボタン)を押します。
 1ボタン：「S-1」と現在の高さが交互に表示されます。
 2ボタン：「S-2」と現在の高さが交互に表示されます。
 3ボタン：「S-3」と現在の高さが交互に表示されます。
4.  Mボタンを押すと記録完了です。

デスク高さ表示変更

i この操作ではデスクの高さ表示を変更できます。
例えば天板の厚みを足した高さに変更することが可能です。

1.    「Ur」と「oFF」が交互に表示されるまでMボタンを約10秒間長押しします。
2.     上(下)ボタンを押し、「End」(現在の高さで交互表示)を選択します。
※表示は「Ur / oFF」⇄「rES / oFF」⇄「P--」⇄「End / (現在の高さ)」の順で切り替わります。
3.    1～3ボタンを押して高さを修正します。
1：3桁目、2：2桁目、3：1桁目の数字が1ずつ増えます(9の次は0に戻ります)
4.  Mボタンを押すと設定完了です。

ケーブル抜け検知

i モーターとの接続が正しくされているか検知します。

1.  モーターとの接続が正しくされていないと、「E-3」と「rES」が交互に表示されます。
一旦電源コードを抜き、全てのケーブルが正しく接続されているのを確認してから電源コードを差し込んで下さい。
2.  使用前に必ずリセット作業を行ってください。

操作方法

ディスプレイの表示変更(cm / inch)

1.    「S--」が表示されるまでMボタンを約3秒間長押しします。
2.    上(下)ボタンを押し、「Unt」を選択します。
※表示は「S--」⇄「HLP」⇄「Unt」⇄「S--」の順で切り替わります。
3.  cm表示にする場合は1ボタンを、inch表示にする場合は2ボタンを押します。
4.  Mボタンを押すと設定完了です。

ストロークの上限・下限の変更

 故障の原因となる可能性があるため、必要な時のみこの設定を行い、頻繁に設定変更をすることはお控えください。

この操作でストローク下限を変更した場合でも、リセット時にはデスクが60 cm(D85) / 70cm(D77)まで下がります。ストローク下限を変更した後にリセット操作を行う場合は、必ず障害物の確認をしてください。

1.    「S--」が表示されるまでMボタンを約3秒間長押しします。
2.    上(下)ボタンを押し、「HLP」を選択します。
※表示は「S--」⇄「HLP」⇄「Unt」⇄「S--」の順で切り替わります。
3.  上限を変更する場合は1ボタンを、下限を変更する場合は2ボタンを押します。
 上限：「H-P」と現在の高さが交互に表示されます
 下限：「L-P」と現在の高さが交互に表示されます
4.  上(下)ボタンでお好みの高さにします。
5.  Mボタンを押すと設定完了です。

衝突検知機能

 ご使用前にあらかじめ人や物などの障害物がないか確認してください。

1.  進行方向に障害物を検知すると、ディスプレイに「E-2」が表示されます
反対方向に少し戻った後停止しますので、再使用するためには障害物を取り除いてください。

衝突検知センサーの感度調整

 工場出荷時は上昇時：15、下降時：10に設定されています。

1.    「Ur」と「Off」が交互に表示されるまでMボタンを約10秒間長押しします。
2.    上(下)ボタンを押し、「P--」を選択します。
※表示は「Ur / Off」⇄「rES / Off」⇄「P--」⇄「End / (現在の高さ)」の順で切り替わります。
3.  上昇時のセンサー感度を変更する場合は1ボタンを、
下降時のセンサー感度を変更する場合は2ボタンを押します。
4.  現在の感度が表示されるので、上(下)ボタンでお好みの感度にします。
数値が低いほど感度が敏感になります。
5.  Mボタンを押すと設定完了です。

操作方法

初期化

 全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1.    「FAC」が表示されるまでMボタンを約15秒間長押しする。
2.  もう1度Mボタンを押すと初期化完了です。

エラーコード一覧

-  リセットが必要です。マニュアルに従いリセット作業を行ってください。
-  過負荷状態です。過負荷の原因となるものを取り除いてください。操作するときは負荷を約80kg以下になるようにしてください。
-  衝突を検知すると反対方向へ少し動作後、自動で停止します。障害物がある場合は取り除いてください。
-  過熱保護中です。中間休止なしで連続動作した場合に保護のため停止します。表示時間(分)の休止後、再び動作可能になります。
-  左右の脚の高低差が2.5 cm以上になると停止します。マニュアルに従いリセット作業を行ってください。
-  ケーブルの接続が不十分です。全てのケーブルが正しく接続されているか確認後、リセット作業を行ってください。

衝突検知機能について

昇降操作中に対象物に天板やパネルが接触により負荷がかかると、衝突検知機能が働きます。デスクが停止後、約 3cm 自動で戻ります。万が一操作中に衝突検知機能が働いた場合には負荷の原因となる対象物が天板の下面または上面に接触していないか確認してください。

衝突検知機能が働く状況例：

- 椅子等を天板下に入れたままの状態で作ってしまうことにより接触している
- 周囲にある物品に天板が接触している

警告

- 衝突検知機能は、デスクユニット本体および対象物を未然に破損から防ぐ為の機能ですが、全ての条件を満たした下での作動を保証しているものではありません。
- 昇降操作する際にはデスクユニット本体の周囲に接触するものが無い事を必ず確認後に操作を行ってください。
- 以下の状況下では対象物に接触しても衝突検知機能が正常に働かない場合がありますので、その場合にはすぐに操作を中止してください。
 - ・対象物がクッションやカバン、衣類など柔らかい場合
 - ・対象物がイスなどの先端部分のみが接触してたわんでしまう状態のとき

メンテナンス

使用中にボルトやネジの緩みによりガタツキが生じたときは早めに増締めをしてください。定期的にリセット作業 (8 ページ) を行い、左右の脚の同期をとってください。(1 ヶ月に 1 度が目安)

お手入れ

注意

- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行い、水洗いはしないでください。感電・ショート・故障の原因になります。
- お手入れの際に、スイッチやコントロールボックス、レッグコラム、ケーブル類に水をかけないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、コードを結束バンドでたばねてください。ショート・火災のおそれがあります。

お手入れは清潔で乾いたやわらかい布でから拭きしてください。

汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。

1. 薄めた中性洗剤につけた柔らかい布を、かたく絞って拭いてください。
2. 洗剤が残らないように水拭きしで拭き取ってください。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色や変形などが無いことを確認してからご利用ください。水分が付いたまま放置したり、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、化学クロス等でのお手入れは行わないでください。万一、変色・変形等した場合は、元には戻りませんのでご注意ください。

廃棄

オキンの各製品は電子部品、ケーブル、金属、プラスチックなどを含んでいます。
製品の廃棄は、各自治体の条例に従ってください。

保証規定

この製品の保証期間は、静岡金属工業(株)の工場出荷より1年です。

保証期間中に取扱説明書、安全上のご注意等の注意書きに従った正常な使用状態で製品が故障した場合には弊社にて修理または交換いたします。

オキンと弊社の保証は製品単体の保証を意味するもので、弊社製品の故障により誘発される完成品への損害は保証の対象範囲から除外します。

保証期間中でも、次のような場合には保証が無くなり有料修理になります。

- ・定められた仕様範囲を超えての使用。
- ・取扱注意書、安全上のご注意等の注意書きに反する使用、または改造、誤接続等による故障および損傷。
- ・火災・地震・水害・落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障および損傷。
- ・消耗部品の取替え。
- ・取付け部品の不適切な使用に起因し本製品に生じた故障および損傷。
- ・お買い上げ後の輸送や移動の際、落下など不適当な取扱いにより生じた故障および損傷。
- ・オキン社以外のデスクリフト、コントロールボックス及びスイッチを接続した場合の故障および損傷。

ご使用頻度及びご使用環境によりましては、約5年間を目安にデスクリフト、コントロールボックス、スイッチ、その他部材の交換をご検討ください。

製品に異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いて販売先に修理をご依頼ください。

ディワートオキン 日本総代理店
Smi 静岡金属工業株式会社

TEL : 054-255-4000

受付時間：月～金 9:00 ～ 17:00

(祝日・年末年始・夏季休暇等は除く)

〒420-0067 静岡県静岡市葵区幸町 52